

2009. 6. 6

国名・都市名の付いた名曲・佳曲を集めて

プログラム

今回は標題に国名、都市名の付いた曲を集めてお聴きいただきます。これまでも度々取り上げていますが、今日は、まだご紹介していない曲を中心に選曲しました。古都ローマの“松のある風景”からその歴史を幻想的、かつ華麗に描いたレスピーギの「ローマの松」と観光案内的な雰囲気でのパリの様々な顔をユーモラスに描いたイベールの「パリ」は題名通りの作品ですが、これらの多くは曲中に表れるメロディ、曲想が標題になったり、出版時に付けられた曲が多いようです。「パリ」等は標題を頭に入れて聴くのもよし、標題に関係なく素晴らしい音楽、演奏に浸るのもよし、自由な聴き方で楽しんでいただければと思います。

エンリケ・クラナドス (1867~1916):

組曲“12のスペイン舞曲” op.37 ~ 第2番“オリエンタル”

アリシア・デ・ラローチャ (ピアノ)

(1994.5 RCA盤)

組曲“12のスペイン舞曲” op.37 ~ 第5番“アンダルーサ”(クライスラー編曲)

イツァーク・パールマン (ヴァイオリン) / サミュエル・サンダース (ピアノ) (1978.4 EMI盤)

カミーユ・サン＝サーンス (1835~1921):

ピアノ協奏曲第5番ハ長調 op.103 “エジプト風” ~ 抜粋

スヴャトスラフ・リヒテル (ピアノ)

クリストフ・エッシェンバッツ指揮シュトゥットガルト放送交響楽団

(1993.5.30 シュヴェチンゲン、ロココ劇場でのLive)

オットリーノ・レスピーギ (1879~1936):

交響詩“ローマの松”

ホルジア荘の松 ~ カタコンフ付近の松 ~ ジャニコロの松 ~ アッピア街道の松

ジヨルジユ・プレートル指揮ウィーン交響楽団

(2000.5.26 ウィーン・ムジークフェラインサールでのLive) 【米倉ライブラリーから】

*** 休憩 ***

ジャック・イベール (1890~1962):

交響組曲“パリ” 2. 郊外 ~ 3. パリの回教寺院 ~ 4. フローニュの森のレストラン ~

5. 定期船イル・ド・フランス号 ~ 6. 旅芸人のパレード (1. メトロを除く)

シャルル・デュトア指揮モントリオール交響楽団

(1992.10 DECCA盤)

アントニン・ドヴォルザーク (1841~1904):

弦楽四重奏曲第12番ハ長調 op.96 “アメリカ” ~ 抜粋

スメタナ弦楽四重奏団

(1974.10.16 東京文化会館大ホールでのLive)

ピョートル・チャイコフスキー (1840~1893):

交響曲第2番ハ短調 op.17 “ウクライナ(小ロシア)” ~ 第1楽章、第4楽章

小澤征爾指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団

(1977.4.16 ベルリン・フィルハーモニーホールでのLive)